

令和 8 年度

地域とともにある学校づくり

田無第二中学校 2 年生

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名： 西東京市共生社会プロジェクト（通称 NKP）
（活動名）

ねらい：

- ・ 共生社会を目指すうえで、西東京市での取り組みを調べ、課題を探究する。
- ・ 研究の過程や成果を整理し、伝えたいことを様々な方法を用いて表現する。
- ・ 他者の学習成果の良さや課題を理解し、自己に生かす。

【4月13日】 ガイダンス

学年主任より、今回のふるさと探究学習に関するガイダンスが行われました。

生徒たちは身近にある人権問題について知り、それがどのように問題となっているかを学びました。



【4月17日】 事前学習①

生活班に分かれて、女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人、性的マイノリティの6つの人権問題について、具体的にどのような問題があるのか調べました。ヘイトスピーチやヤングケアラーなど、新たに知った問題・課題もあったようでした。

【6月17日】 事業所訪問

事業所訪問当日はゲリラ豪雨や落雷に見舞われ、出発時刻を変更しての訪問となりました。

生徒たちは途中で道に迷ってしまう班もありましたが、すべての班が問題なく自身の訪問先にたどり着くことができました。

急遽オンラインによるリモートでの対応をしていただいたりなどの出来事がありましたが、ほとんどの班が事業所の方から話を聞くことができました。

また、訪問した事業所によっては事前に資料を用意いただいていたりと、多くの時間を割いていただいたりと、生徒の探究学習に対して真摯にご協力いただくこともできました。

【6月2日】 事前学習②

ふるさと探究学習のために特別に編成された班ごとに分かれて、事業所訪問に向けて交通経路の確認や質問事項の検討などを行いました。

生徒たちは、実社会で人権問題がどのような課題とされているのかを考え、探究学習における課題の設定を明確にすることができました。

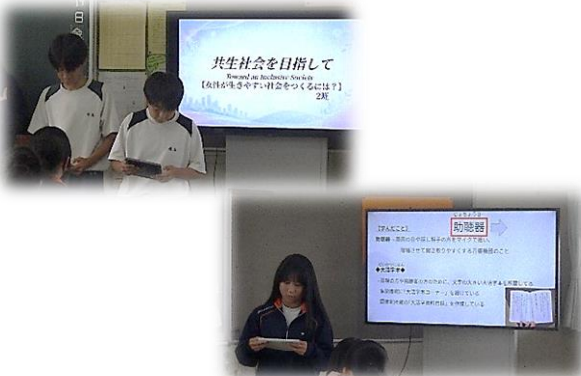


【6月15日】 事後学習

探究学習を通じて調べた、西東京市の現状と課題を、クラス発表及び全体発表にて発表するための準備を行いました。各事業所から聞いた話をそれぞれスライドにまとめたり、発表原稿を書いたり、役割分担を決めて自分の仕事を全うする様子が見られました。

【6月19日】 クラス発表

クラス内で、各班の発表を行いました。
どの発表も現状と課題をしっかりとめて発表でき
ており、人権問題について学習が深まった様子が見ら
れました。



【6月19日】 全体発表

各人権問題の代表班が、学年全体及びお世話になっ
た事業所の方々をお招きして、体育館にて全体発表を
行いました。
地域の方々の前で発表するという貴重な経験を得る
ことができ、発表後にはとても満足する様子も見られ
ました。



【ご協力いただいた 事業所等一覧（敬称略）】

田無小学校、住吉小学校、西友 ひばりが丘店、
ニトリ 田無店、シチズン時計株式会社、トヨタ
モビリティ東京 保谷本町店、みずほ銀行 田無
支店、田無警察署、谷戸公民館、ひばりが丘児童
センター、田無児童館、西原北児童館、北原児童
館、市役所 地域共生課、市役所 高齢者支援課、
市役所 文化振興課、田無 ASTA、西東京市スポー
ツセンター、西東京市多文化共生センター、中央
図書館、谷戸図書館、男女平等推進センター パ
リテ（ルピナス）、子どもの相談室 ほっとルー
ム（ルピナス）、住吉老人福祉センター（ルピナ
ス）、障害者総合支援センター、社会福祉法人さ
くらの園 カフェ もぐもぐの森、児童発達セン
ターひいらぎ（ルピナス）、保谷障害者福祉セン
ター谷戸幼稚園、こみね幼稚園、西東京市高齢者セ
ンターきらら、武蔵野大学、レインボーコミュニ
ティ西東京

【製作物】

一部ですが、発表の際に使用したスライドを掲載い
たします。



CS との連携

訪問する事業先の検討していただいたり、実際に生徒が訪問して質問に答えていただいたりしました。

まとめ

- ・性的マイノリティを抱える人たちは、周囲の理解不足や偏見、自分らしさを隠さなければならないところに生き
づらさを感じている。一人の人として接することが大事であることを学んだ。（生徒感想より）
- ・生徒たちは今回の事業所訪問を通じて、西東京市の共生社会に興味を持つことに繋がり、現状と課題を考
えることができました。また、班で協力してテーマ決めや発表活動、自分たちにできることを考えたことにより、課題
解決能力を向上させることができました。